

# 全国システム実務者研修会

## 「菓子業界商品分類コード」 の普及促進について

平成28年11月9日



# 目 次

1. 「菓子業界商品分類コード」作成の背景と目的
2. 菓子業界分類の概要・基準書について
3. 全国説明会の実施(平成27年度)
4. 活用に向けて
5. 分類コード付番における留意点
6. 今後の運用体制・チェンジリクエスト
7. 市場データ関連との連携等
8. 連絡先等

# 1. 「菓子業界商品分類コード」 作成の背景と目的

---

## 1-1. 背景

**(一財) 流通システム開発センターが管理しているJICFS商品分類コードの菓子分類コードは、平成7年に改訂されてから20年が経過し、現在各メーカー、卸の商品マスターに付されているものの、その分類が大まかすぎることから現状にそぐわなく、また、あまり活用されていない。**

**そこで、菓子業界として実態に合ったものとするために分類コードを細分化し、製・配・販の利便性向上を図るため、平成25年8月に唯一製・配が合同で検討する場であるe-お菓子ねっと内に菓子分類コード検討分科会を設けて検討を進めた。**

※ JICFS商品分類：一般財団法人 流通システム開発センターが運営・管理しているJICFS/IFDB (JANコード統合商品情報データベース)に収録されているJANコード情報を効率よく利用できるように設定されたJICFS用の商品分類コード。JICFSは、JAN Item Code File Serviceの略。詳しくは一般財団法人 流通システム開発センターのホームページにて、ご確認ください。  
URL <http://www.dsri.jp/>

**結果、JICFS商品分類の改定はせず、菓子業界としての「菓子業界商品分類」を新設**

## 1-2. 目的

### ①マーケティングへの活用度向上

共通分析キーを実現することにより、市場分析、小売に対する棚割提案、他社との比較分析、クロス分析など、リテールサポート活動などにおける活用度向上を図り、業界マーケティング機能向上の一助とする。

### ②効率化の実現

分類の共通キーを目指し、コードの標準化を行い、メーカー・卸相互における作業の省力化・効率化を図ると共に、データ精度向上を図る。

### ③分類基準の明確化

業界としての共通分類基準を整備し、各種サービス向上に繋げる。

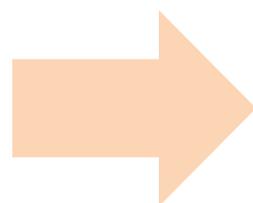
## 2. 菓子業界分類の概要・基準書 について

---

## 2-1. 概要

- 「JICFS分類」と「菓子業界商品分類」の相違点  
菓子業界の実態に合うものとするため、  
「**消費者視点を踏まえた売り場軸**」で分類を細分化。

JICFS菓子  
分類コード



菓子業界  
商品分類  
コード

JICFS菓子分類コード  
細分類20種

(ヨーグルト、アイスクリーム類除く)

分類の優先基準  
→ 消費者分類

菓子業界商品分類コード  
細分類**160種**

分類の優先基準  
→ 消費者視点を踏まえた  
**売り場分類**

## 2-2. 基準書① - 菓子業界商品分類全体像

### 現状JICFS分類

JICFS分類				
分類コード				分類名
大	中	小	細	
1	3	01	21~98 (13種)	菓子
1	3	02	3~97 (2種)	デザート・ヨーグルト
1	3	03	01~97 (4種)	珍味
1	3	97	97 (1種)	その他菓子類



### 菓子業界商品分類

分類コード				分類名
大	中	小	細	
1	3	21	10~97 (全13種)	キャンディ
1	3	23	10~97 (全11種)	チョコレート
1	3	25	10~97 (全8種)	チューインガム
1	3	27	10~97 (全11種)	ビスケット・クッキー
1	3	29	15~97 (全9種)	米菓
1	3	31	10~97 (全10種)	スナック
1	3	33	15~97 (全7種)	豆菓子・ドライフルーツ
1	3	34	20~97 (全7種)	珍味

分類コード				分類名
大	中	小	細	
1	3	35	25~97 (全4種)	玩具菓子
1	3	37	25~97 (全4種)	生菓子
1	3	39	10~97 (全6種)	半生菓子
1	3	41	15~97 (全7種)	焼菓子
1	3	51	10~97 (全6種)	デザート類
1	3	53	10~97 (全5種)	シリアル類
1	3	55	25~97 (全6種)	ギフト
1	3	61 ~ 81	10~97 (全45種)	バレンタイン、節分 などの催事専用商品
1	3	98	97 (1種)	その他菓子類

### **3. 全国説明会の実施(平成27年度)**

---

# 3-1. 全国説明会の実施

## ① 開催実績

開催案内郵送企業数 1,829社

開催日	開催地	会場
平成27年12月9日（水）	東京	コンベンションルーム AP浜松町（N+O室）
平成28年1月29日（金）	大阪	コンベンションルーム AP梅田大阪（A+B室）
平成28年2月3日（水）	札幌	TKP札幌駅 カンファレンスセンター（2A）
平成28年2月10日（水）	名古屋	コンベンションルーム AP名古屋. 名駅（L室）
平成28年2月25日（木）	福岡	TKPガーデンシティ博多 （高千穂1）

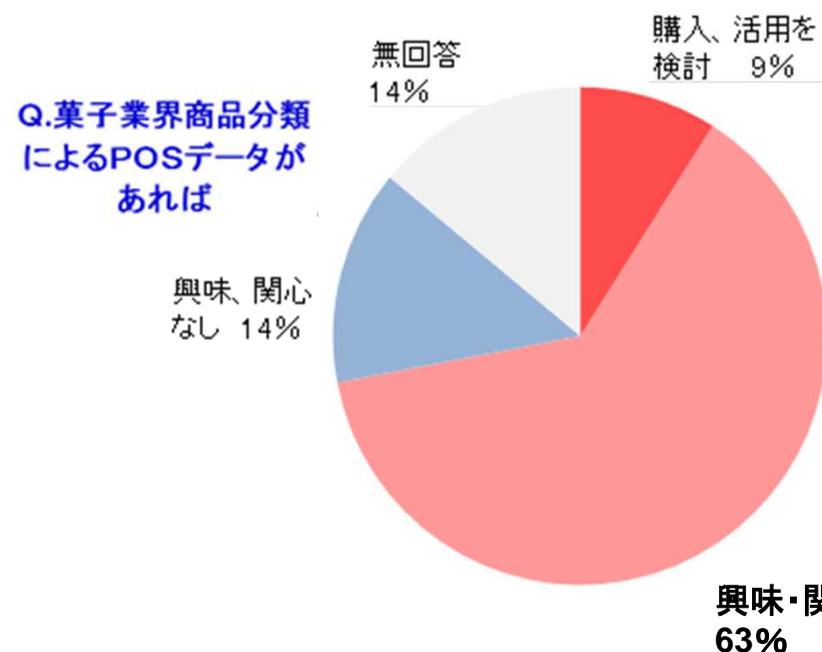
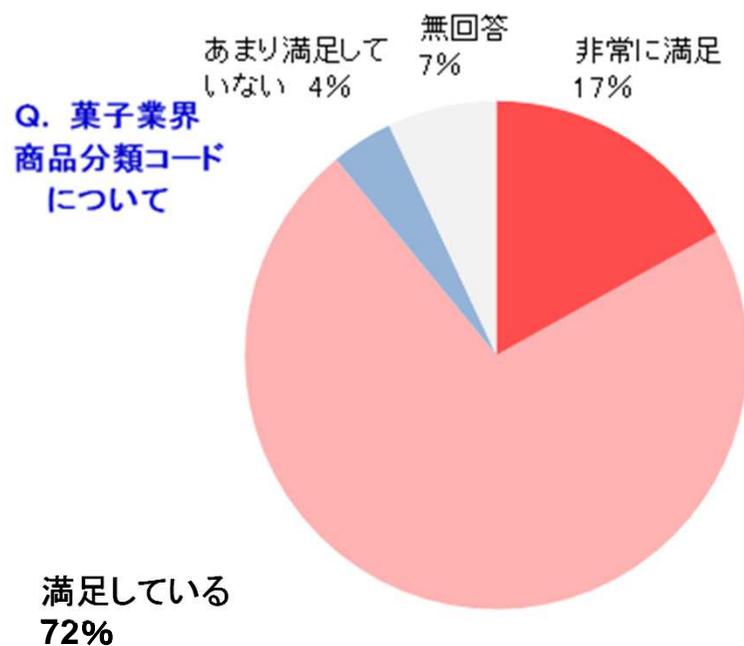
	12/9 東京		1/29 大阪		2/3 札幌		2/10名古屋		2/25 福岡		説明会(延べ)合計		参加企業数	
	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数		内未加入
卸 様	9	15	4	5	1	1	8	11	5	8	27	40	26	4
メーカー様	45	55	22	36	6	6	43	55	9	11	125	163	120	42
他(DB、再販、他)	16	23	1	1	1	1					18	25	18	
参加 計	70	93	27	42	8	8	51	66	14	19	170	228	164	46
委員・スタッフ		30		12		9		13		16		80		
合 計		123		54		17		79		35		308		

## 3-2. 全国説明会の実施

### ②参加者アンケート

・12/9東京 ・1/29 大阪 ・2/3 札幌 ・2/10 名古屋 ・2/25 福岡

・アンケート回収状況	卸	メーカー	DB、再販、他	合計
参加者	40	163	25	228
アンケート回収	30	137	16	183
回収率	75.0%	84.0%	64.0%	80.3%
	<b>82.3%</b>			



## 4. 活用に向けて

---

## 4-1. 卸の活用に向けて

### ① POS分析

- ・ **業界共通の分類による**市場分析及び比較分析  
市場分析、小売に対する棚割提案、他社との比較分析、クロス分析

### ② 業務効率化

- ・ マスターが整備されていると、類似する商品提案が行い易い（検索し易い）
- ・ 分類付番作業の効率化等

### ③ 商品開発

- ・ 商品開発を行う際、消費者のトレンドについて詳細な分析が可能になる

### ④ その他

- ・ 帳合メーカーと各社共通コードの下、事前商談が出来るため、情報の整理や見積、企画書の作成が行い易い
- ・ 小売に対して各社共通の分類でアプローチが図れるため、分析内容の確認や商品分類のズレが今程生じないことによる作業時間の省略が可能となる
- ・ 発注業務における、出荷予測数の算出に細分化された商品分類を使用する事で精度向上が期待できる。

## 4-2.卸の活用に向けて

### 各卸の採用状況

#### 株式会社 種清

■登録開始日:平成28年8月1日(登録条件:任意)

※平成28年9月1日より登録条件を必須に変更

#### 三菱食品 株式会社

■登録開始日:平成28年9月30日(登録条件:必須)

※登録は(株)ジャパン・インフォテックス経由

#### 株式会社 山星屋

■登録開始日:平成28年8月2日(登録条件:任意)

(11月初旬必須化)

## 4-3.卸の活用に向けて

商品マスター統一登録申請書については、平成28年4月以降版から、菓子業界商品分類が付加されております。

商品マスター統一登録申請書										(1) No.		
(3) 提出先:					(2) 提出日:					年	月	日
*菓子業界分類コードを入力するとJICFS分類コードが表示されます										(4) データ区分		1:新規・2:変更・3:終売
										(5) 変更申請時、変更項目に○印		↓
(6) メーカー名	(カナ)											
	(漢字)											
(7) メーカーコード								(8) 担当者名				印
(9) 商品規格(ピース)												
(10) 商品名	(カナ)											
	(漢字)											
(11) BL(内箱)内PS数								BL(内箱)がない場合は未記入				
(12) CS(外箱)内PS数						(13) 発注単位CS数						CS
(14) 標準売価												円
(15) 卸仕入単価												
(16) 商品分類コード	菓子業界分類コード					菓子ギフト(チョコ・ビス・クッキー)			JICFS分類コード			【卸】分類コード
	1	3	5	5	3	5	1	9	0	3	0	1
(17) 商品コード												
(18) 単品JANコード												(24) シンボル表記有無
(19) BL(内箱)JANコード												1:有・2:無
(20) BL(内箱)ITFコード												1:有・2:無
(21) CS(外箱)JANコード												1:有・2:無
(22) CS(外箱)ITFコード												1:有・2:無

## 4-4. メーカーの活用に向けて

### ①POS分析

- ・小売業よりPOSデータを購入するも、利用されるケースは稀であったが**業界共通の分類による**分析が可能となり、市場分析、各種提案に活用
- ・分類の細分化に伴い、商談時の提案などでより多くの情報提供が可能

### ②業務効率化

- ・卸店により独自分類を設けられているが、**業界共通の分類**への移行によりシステム対応が可能となり、精度及び効率化が進む

### ③採用頻度の向上

- ・小売業への商品提案に向けた卸店による商品選択の際に、分類に正確に登録する事で、選択候補への漏れが防止できる

# 5. 分類コード付番における留意点

---

## 5-1. 分類コード付番における留意点

- 従来からの分類認識を改め、基準書全体を理解したうえで付番する必要がある
- パチンコ店専用のチョコレートであれば、小分類チョコレートではなく「その他菓子類」となる為、最終の分類まで確認したうえで登録作業に入らなくてはならない
- 分類コードに加え、分類名を表記する場合は、細分類名のみでは重複するため、催事専用品などには催事名＋分類名とする事で、誤登録を防止する必要がある

※商品マスター統一登録申請書(ホームページ掲載)のシート「分類コードマスタ」の菓子業界分類名称を参照ください  
次ページで事例案内

## 5-2. 分類コード付番における留意点

### ・菓子業界商品分類名称の表示について

※「アソート」はホワイトデー、バレンタインで重複

### ・商品マスター統一登録申請書の名称例(マスタ)

分類コード		菓子業界分類名称	菓子業界分類コード 定義
菓子業界	JICFS		
		バレンタイン専用品	バレンタイン専用品(一般商品でJAN変更なしのパッケージ変更商品は含まず)
136110	130143	輸入バレンタイン専用品	JANが49/45以外の輸入バレンタイン専用品 ※国産品と同様に定番売り場で展開している商品は除く。
136125	130143	バレンタイン専用品キャラクター	パッケージにキャラクターを使用したバレンタイン専用品
136130	130143	バレンタイン専用品 銘店・ブランド	ブランド力があり直販、百貨店等で展開しているメーカーの商品。一般流通(GMS/SM等)で販売する場合も専用什器、もしくはガラスケースで展開するようなメーカーの商品を示す。※有名シェフ監修だけの商品は除く(銘店ブランド名を使用していないもの)
136135	130143	バレンタイン専用品 パロディ	パロディ系バレンタイン専用品
136140	130143	バレンタイン専用品 酒類チョコ	ブランデー等の酒を使用したバレンタイン専用品
136145	130143	バレンタイン専用品 ハート	チョコの形状がハート型のバレンタイン専用品
136150	130143	バレンタイン専用品 アソート	トリュフやナッツチョコ等をパレティレにアソートしたバレンタイン専用品

## 6. 今後の運用体制・ チェンジリクエスト

---

## 6-1. 今後の運用体制・チェンジリクエスト

### ① 今後の運用体制

菓子業界商品分類の維持管理については、e-お菓子ねっとにて検討、協議を行う。

### ② チェンジリクエスト

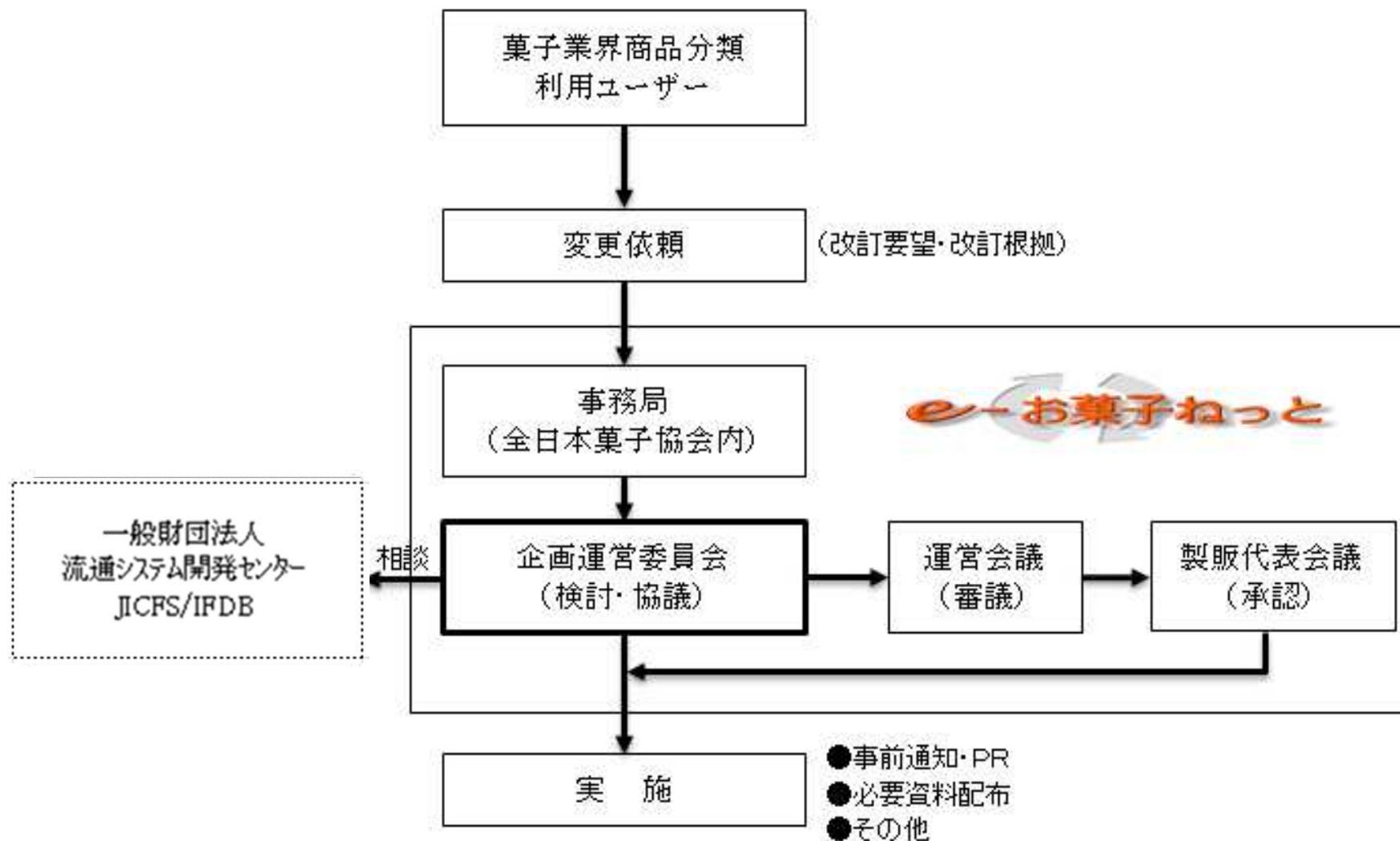
菓子業界商品分類利用ユーザーより改訂要望、改訂根拠をe-お菓子ねっと事務局にて受付ます。

定期的(毎年3月)に要望に基づいて、妥当性の検討を行い、「消費者視点を踏まえた売り場軸」にあった商品分類を維持し、最新版をホームページ上に掲示する。

- ・菓子業界商品分類からJICFSへの変換先の一部変更
- ・登録時名称としての細分類名の見直し予定等

## 6-2. 今後の運用体制・チェンジリクエスト

### 【 菓子業界商品分類改訂の流れ 】



# 7. 市場データ関連との連携等

---

## 7. 市場データ関連との連携等

### ■株式会社KSP-SP

#### ■ 目的

今まで菓子業界商品分類と合致していなかったKSP社分類を菓子業界商品分類にほぼ合致させることで活用促進を図る。

#### ■ 実施時期

2016年10月度データより(11月12日配信分より)予定

# 8. 連絡先等

---

## 8. 「菓子業界商品分類」に関するお問い合わせ先

### ■ 問い合わせ及びチェンジリクエスト提出先

e-お菓子ねっと 事務局（全日本菓子協会内）

〒105-0004 東京都港区新橋6-9-5

電話 03-3431-3115

FAX 03-3432-1660

E-mail [anka-0@nifty.com](mailto:anka-0@nifty.com)

### ■ 「菓子業界商品分類基準書」掲載先URL

<http://www.eokashi.net/>



**ご清聴ありがとうございました。**